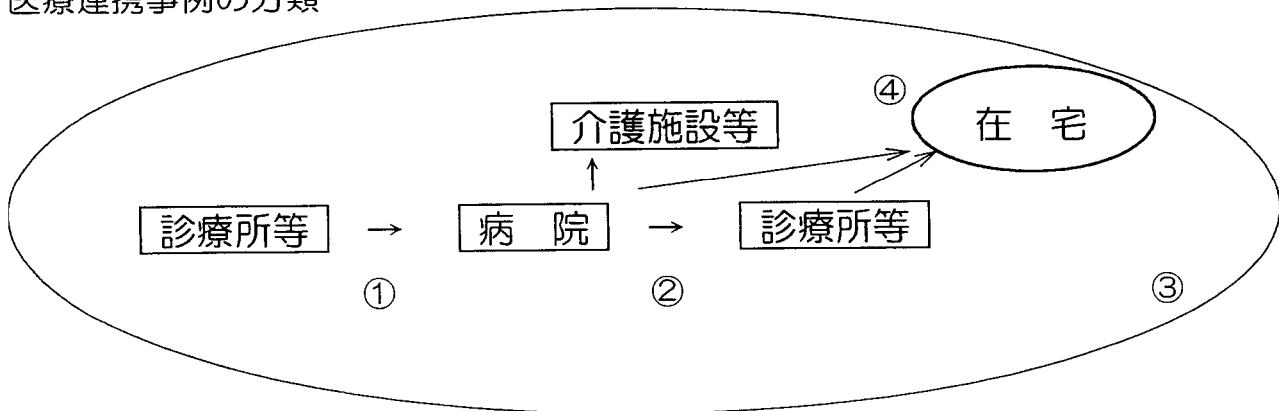


全国で行われている医療連携の事例

医療連携事例の分類



※ 各地で実施されている医療連携について、便宜上、医政局指導課において上記の各医療連携事例ごとに分類したものである。

① 診療所等が中心となって医療連携を構築している事例

◇診療所等から受診予約や検査を病院が受け付け、診療所へ情報を還元

- 宮城県古川市（地域医療連携システム） 古川市立病院
- 神奈川県海老名市（ネクスト） 海老名総合病院
- 横浜市神奈川区（病診連携Wの会） 済生会神奈川県病院
- 静岡市（イーツーネット（医2ネット）） 静岡市立病院（糖尿病、C型肝炎、気管支喘息、虚血性心疾患・心房細動、脳梗塞、眼部腫瘍・眼形成、慢性腎不全、乳癌）
- 愛知県豊田市（TM-net） トヨタ記念病院
- 大阪府泉佐野市りんくう地区（りんくう医療ネットワーク） 市立泉佐野病院
- 神戸西地域 西神戸医療センター
- 熊本県（連携パス） 国立病院機構熊本医療センター（大腿骨頸部骨折、人工膝関節置換術、頸椎椎弓形成術、腰椎椎弓切除術、肩腱板修復術、下肢骨折手術、脳血管障害、胃癌手術、大腸癌手術）

◇診療所等からの画像読影の依頼を受け、病院から診療所へ情報を還元

- 北海道（道東画像ネットワーク） 釧路脳神経外科病院（遠隔診断実績：脳卒中、頭部外傷、慢性硬膜下血腫、硬膜下水腫、脳腫瘍等）
- 岡山県倉敷市（画像電送ネットワーク） 財団法人倉敷中央病院（脳神経外科領域）

② 病院が中心となって医療連携を構築している事例

◇病院で高度な治療後、診療所への逆紹介

- 福島県会津地区 竹田総合病院 〈循環器〉
- 東京都北多摩地区 (糖尿病医療連携システム) 〈糖尿病〉
・専門的な医療機関である中規模病院同士が連携を図ったもの

③ 病・診・介護施設の連携

◇電子カルテ等により患者情報を地域で一元化しているもの

- 山形県鶴岡地区 (Net4U (ネットフォーユー))
- 千葉県 (わかしお医療ネットワーク) 千葉県立東金病院 〈糖尿病〉
- 宮崎県 (宮崎はにわネット)
・病院、診療所、検査センター、薬局が電子カルテ及び共同利用サーバーを通して情報ネットワークを構築

④ 医療機関 → 在宅

◇医療機関が在宅医療に取り組んでいるもの

- 宮城県仙南地区 (在宅ホスピス連絡会) 仙南保健福祉事務局 〈がん〉
・調剤薬局、訪問看護ステーション、保健所含む
・退院前の合同カンファ (在宅でのケアの方向性について情報共有)
- 静岡市 (在宅医療病診連携) 静岡市医師会
・急変時どうするか在宅患者とかかりつけ医で事前に調整
・医師会が在宅看取りに対応・急変時希望病院への搬送
- 尾道市 医療と介護の機能分担・連携
・公立みつぎ総合病院を核とした地域包括ケアシステム
・尾道市医師会方式 新・地域ケアの構成
- 長崎県 (長崎在宅Dr. ネット)
・医師個人が登録 (医療機関単位ではない)
・在宅診療希望の患者発生時に主治医と副主治医を決定

⑤ 周産期医療システム

- 青森県周産期医療システム 〈周産期医療〉

⑥ その他

- 青森県 地域連携パス標準化モデルの開発・普及事業の実施
- 茨城県 県内医療機関で地域連携クリティカルパスの実践について研究

全国で行われている医療連携の事例紹介

※概要はホームページ等から抜粋したものである。

●古川市立病院 地域医療連携室における地域医療連携システム【別紙1】

----- p. 9

- ・かかりつけ医と古川市立病院がそれぞれの機能を分担し、相互連携を密にする地域医療連携システム。

●海老名総合病院における医療連携【別紙2】

----- p. 10

- ・海老名総合病院と診療所29カ所が参加。
- ・診療所医師と紹介・逆紹介・高度医療機器共同利用システムであるネクスト（NECST : Network of Ebina Cure Support）を構築し、運用。
- ・さらに2病院1クリニックで共通の電子カルテ・画像システムを導入。

●病診連携Wの会【別紙3】

----- p. 11

- ・横浜市神奈川区を中心に鶴見区、港北区、西区、保土ヶ谷区 神奈川区医師会168名と済生会神奈川県病院が連携。
- ・済生会神奈川県病院および近隣の開業医との間で、よりよい病診連携を実現しようと意見の交換をしてきた会。
- ・患者の紹介、逆紹介、在宅ケアについて、病院と開業医の間の具体的な問題を検討するのが目的で、会を通して単なる紹介状のみではなく、お互いに直接顔をあわせて、紹介、逆紹介上の問題点を討議することで、より良い医療と相互信頼を目指している。

●静岡市立病院におけるイーツーネット（医2ネット）の取組【別紙4】

----- p. 12

- ・特色を持たせた病診連携（1診療科1疾患、2人主治医制）。
- ・疾患別病診連携を基本に置き、診療所医師と市立病院医師による二人主治医制。
- ・市立病院への登録医制度。
- ・共通のデータをやり取りする。

●トヨタ記念病院における医療連携【別紙5】

----- p. 14

- ・トヨタ記念病院と地域の医療機関43カ所（うち10カ所は診療所用電子カルテシステムを導入し、患者情報を共有）が参加。
- ・電子カルテ導入に伴い地域医療ネットワークシステムを改善しT M - N e t と称する。

●りんくう総合医療センター市立泉佐野病院における りんくう医療ネットワーク【別紙6】

----- p. 15

- ・地域医療推進室は地域ぐるみの医療サービスシステムを効率よく円滑に運用していくことを目的としており、泉佐野及び近隣に限らず、どの地域からでも診察の予約や検査の予約などが自由に利用できる。
- ・地域医療機関と連携を結び、他の医療機関との相互紹介を円滑な運用、医療機器の共同利用、研究会、臨床検討会の開催している。
- ・その他に保健、福祉機関、長期ケアサービス機関などとの密な連携、広報活動等を実施している。

●神戸西地域での医療連携【別紙7】

----- p. 16

- ・連携システム参加医療機関数は、病院33、診療所391、歯科診療所226。
- ・財団法人神戸市地域医療振興財団西神戸医療センターは神戸西地域（西区、垂水区、須磨区）にあり、神戸西地域のほとんどの医療機関との間で医療連携を行っている。

●国立病院機構熊本医療センターにおける医療連携【別紙8】

----- p. 17

- ・医療内容と最終達成目標及びプロセスを診療所・病院双方の医療従事者と患者・家族が共有し、同じ意識の下で治療に取り組むことを目的としたもので、医療従事者用と患者・家族用とがある。
- ・さらに転院施設退院時の患者の状態がフィードバックできるように改訂している。
- ・連携パス（例）：整形外科では大腿骨頸部骨折、人工膝関節置換術、人工股関節置換術、

頸椎椎弓形成術、 腰椎椎弓切除術、肩腱板修復術、下肢骨折手術、脳神経外科・神経内科では脳血管障害、外科では胃癌手術、大腸癌手術 など。

●道東画像ネットワーク【別紙 9】

----- p. 20

- ・地域の公的病院 9、医療法人病院 2 の間で画像転送システムを構築。
- ・担当医同士が患者の状態などの情報を直接電話でやりとりしながら、転送画像の評価を行うことが可能。
- ・今後の展望として、画像情報だけではなく、患者を中心にした施設間で共有できるデータベースを構築し、既往歴、現病歴、入院治療経過、検査結果、服薬内容などの情報に関してもサーバー上に配置することで、急性期加療終了後に地元での通院・入院加療やリハビリを継続する場合にも有効に利用可能。
- ・ネットワークを病院間のみではなく、調剤薬局、老健施設、訪問看護ステーションに広げることで、様々な利用が可能。

●財団法人倉敷中央病院における画像伝送ネットワーク【別紙 10】

----- p. 22

- ・脳神経外科領域において 25 医療機関と連携している。
- ・専門的医療が終わり、病状も安定している一方で、引き続き入院治療を要する患者は、療養病床、回復期リハビリ病棟、特殊疾患療養病棟、緩和ケア病棟などを有する病院への転院をお願いする。

●竹田総合病院における医療連携【別紙 11】

----- p. 23

- ・会津地域 161 医療機関とネットワークを構築。
- ・電子カルテシステムを導入し、医療連携、共同診療を充実させ、電子クリニカルパス導入にも挑戦。

●東京都北多摩地区の医療連携の試み【別紙 12】

----- p. 25

- ・糖尿病地域診療システムの構築 病院 7 カ所、診療所 1 カ所。

- ・ 500～1000床規模の総合病院の糖尿病専門科におけるチーム医療の拡充と中規模病院における専門外来とチーム医療の立ち上げ。
- ・ 糖尿病専門クリニックとの連携、最終的に診診連携や病診連携の中核になる専門医療機関を設定し糖尿病チーム医療と糖尿病専門外来が有効に機能すること、治療法・コントロール状態・合併症の程度により、各医療機関が適切な役割分担を行うこと等を目指す。

●山形県鶴岡地区医師会での統合型医療連携システムNet4U
(先進的情報技術活用型医療機関等ネットワーク化推進事業)【別紙13】

..... p. 26

- ・ 鶴岡市と周囲6町村 病院7カ所、診療所95カ所が連携。
- ・ 1生涯(地域)／1患者／1カルテを実現する地域電子カルテシステムを構築し、二次医療圏および医療圏を越えた診療情報の共有を可能とし、かかりつけ医制度の普及、役割分担に基づく医療機関連携を推進し、効率的で安心かつより質の高い医療の提供を目指すもの。
- ・ Net4U(ネットフォーユー)は、the New e-teamwork by 4 Unitsの略で、4 Unitsとは今回の事業で連携する「病院・診療所・介護福祉施設・検査センター」のこと。

●千葉県立東金病院におけるわかしお医療ネットワーク【別紙14】

..... p. 27

- ・ 病院完結型の医療から地域完結型の医療へ、地域全体が一つの病院であることを電子カルテネットワークで実現させる。
- ・ 地域医療連携を強化して、定期的糖尿病研修会と電子カルテネットワークを活用し、診療所へのインスリン療法の啓発・普及を図る。
- ・ わかしお医療ネットワークによる在宅ホスピス支援システムも実施。

●宮崎健康福祉ネットワーク(通称「宮崎はにわネット」)【別紙15】

..... p. 29

- ・ 地域中核病院9カ所、診療所10カ所、検査センター1カ所、薬局8カ所が参加。
- ・ 患者、診療所、病院、薬局、検査センターで利用可能な電子カルテ及び共同利用サーバを開発し、EBMや経営分析の情報収集・活用を実現する全県的な健康福祉情報ネットワークを構築。

●宮城県仙南地区在宅ホスピス連絡会【別紙16】

..... p. 31

- ・ 治癒の見込めない終末期にある、がんなどの患者を対象に、生活の質の向上を目的として、全人的な観点に立ち症状コントロールなどを中心に、家庭において行われる支援。
- ・ 地域における在宅ホスピスケアの推進を図り、保健・医療・福祉の関係職種及び機関が連携強化し、患者及び介護家族の身体的・精神的・社会的な支援を行うことを目的としている。
- ・ 仙南保健福祉事務所を事務局として活動。

●静岡市医師会での在宅医療病診連携の取り組み【別紙17】

..... p. 33

- ・ かかりつけ医と連絡が取れない場合の患者家族の不安を解消するため、在宅医療支援看取りシステム（グリーンカード）と在宅寝たきり患者病状急変時連携システム（イエローカード）を考案し、実施。
- ・ グリーンカードは、自宅で生を全うしたい患者に用意されるカードで、かかりつけ医があらかじめ患者家族に渡しておき、看取り状態になった場合、万一かかりつけ医に連絡できなくても、患者家族が消防署に連絡すれば医師会当番医が紹介され、自宅で希望どおりケアを受けることができる患者療養カードである。
- ・ イエローカードは、希望病院への搬送入院を要望する在宅患者に渡しておく療養カードで、かかりつけ医と連絡がとれなくても、希望病院にイエローカードを提示すればそこの治療が受けられるもの。

●市公立みつぎ総合病院を核とした地域包括ケアシステム【別紙18】

..... p. 34

- ・ 地域に包括医療を、社会的要因を配慮しつつ継続して実践し、住民のQOLの向上をめざすもの。
- ・ 包括医療とは治療のみならず保健サービス、在宅ケア、リハビリテーション、福祉・介護サービスのすべてを包含するもので、施設ケアと在宅ケアとの連携及び住民参加のもとに、生活・ノーマライゼーションを視野に入れた全人的医療

●尾道市医師会方式 新・地域ケアの構成【別紙19】

..... p. 35

- ・主治医機能のケアマネジメントの実践から構築した「新・地域ケア」

●長崎在宅Dr. ネット【別紙20】

..... p. 36

- ・病院（主治医や病診連携室）から、事務局（白髭内科医院）に、在宅診療希望の患者発生連絡を受け、事務局から主治医を募るeメールを送信し、会員が手を上げる。その際、主治医と副主治医（主治医が対応できない場合の補佐役）も決定。主治医と副主治医が相談しながら在宅診療を開始。
- ・連携医（主治医・副主治医）37名、協力医13名、病院医師21名。

●青森県周産期医療システム【別紙21】

..... p. 37

- ・すべての妊産婦及び新生児が速やかに適切な医療を受けることができるよう、総合周産期母子医療センター、地域周産期母子医療センターなど、各周産期医療施設が有する機能に応じ、効果的な連携と役割分担の仕組みを明らかにしたもの。

●青森県地域連携パス標準化モデルの開発・普及事業の実施【別紙22】

..... p. 38

- ・疾病別に病態・病期ごとの保健・医療・福祉関係者の役割分担やサービスの連携内容を定めた「地域連携パス標準化モデル」を開発し、全県的な普及を図ることにより、医療機関の利用者が安心して円滑に地域での生活にもどり、早期に社会復帰できるようにすることを目的として実施。

●茨城県内医療機関で地域連携クリティカルパスの実践についての研究【別紙23】

..... p. 40

- ・医療機能分化推進事業を実施して、県内の医療機関に地域連携クリティカルパスの実践についての研究、及び地域医療支援病院研修会を実施し、県内の代表的な医療機関から地域連携クリティカルパスの実践についての報告。